

## 令和3年度 部局経営方針

部局名	健康長寿部	部局長名	福永 鉄治		
<b>部局の経営資源</b>	職員数 (人)	現計予算額 (千円)		令和3年度中に策定した計画 (根拠法令等)	
	正職員	51	一般会計	1,886,534	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日向市新型インフルエンザ住民接種計画の策定 (新型インフルエンザ等特別措置法)</li> <li>○日向市新型インフルエンザ等対策行動計画の見直し(同上)</li> <li>○日向市立東郷診療所整備基本計画</li> </ul>
	再任用職員	2	特別会計	5,720,153	
	会計年度任用職員	24	前年度繰越額(千円)		
	任期付職員	4	一般会計	5,601	
			特別会計	0	
<b>総合計画に基づく部局の経営戦略</b>	<p><b>【基本姿勢】</b> 健康長寿部は、「第2次日向市総合計画」の基本理念「人権尊重・市民協働・地域力活用」のもとで、後期基本計画の重点戦略に掲げる「笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり」の実現を目指します。</p> <p><b>【総合計画・基本理念】</b> 健康長寿部は、「第2次日向市総合計画・後期基本計画」に掲げる本市のめざす将来像である「市民一人ひとりが健康づくりに努め、保健、医療サービスが充実し、健康寿命が延伸され、元気で明るく笑顔にあふれた健康的な生活を送るまち」を実現するため、高齢者福祉、保健、医療の分野での取り組みを推進します。</p> <p><b>【総合計画・基本目標】</b> <b>【基本目標】2 市民が共に支え合い、自立した生活を送る健康長寿のまち</b> 2-2 健康に暮らせるまちづくり</p> <p><b>① 保健対策の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 疾病の早期発見のために、健(検)診を受けやすい体制づくりや周知啓発に努めるとともに、早期治療のために、要精密検査者に対する受診勧奨を行います。</li> <li>○ 生活習慣病を予防し、健康づくりに取り組めるよう、個々に応じた食事や生活習慣の改善に向けた保健指導に努めます。</li> <li>○ 生きづらさや深い悩みを抱えている人に気づき、自殺を未然に防ぐことにつなげていけるよう相談窓口の周知啓発に努めます。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症など新たな感染症等の情報を収集し、正確な情報提供を行うとともに、関係機関と連携した適切な対応を図ります。</li> </ul> <p><b>② 医療体制の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日向市東臼杵郡医師会や関係機関と連携し、医療人材の確保や地域医療体制の充実に努めます。</li> <li>○ 地域医療を担う医療人材の負担を軽減し、働きやすい環境をつくるため、かかりつけ医の利用促進や時間外受診の抑制など市民への啓発活動を推進します。</li> <li>○ 安定した救急医療体制を維持するため、二次救急医療機関に対する支援に取り組みます。</li> <li>○ 東郷診療所については、地域のかかりつけ医療機関として、持続可能な医療の提供に努めるとともに、新たな施設の整備に向けた検討を行います。</li> </ul>				

### 2-3 高齢者福祉の充実

高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って、安全で安心して生活できる社会づくりを推進するために、「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和3年度～5年度）」に基づき、「地域包括ケアシステム」の更なる深化・推進を図ります。

#### ① 高齢者の社会参加と生きがいづくり

- 生活支援コーディネーターを活用して、生活圏域ごとにバランスよく生活支援サポーターを養成するとともに、住民主体の介護予防教室の運営支援など、活動の場の創設に継続して取り組みます。
- 日向市シルバー人材センターの活動内容や加入のメリットなどについて市広報等で情報発信し、会員拡大を支援します。
- 高齢者クラブの活動内容や加入のメリットなどについて市広報等で情報発信し、会員拡大を支援します。
- 高齢者の健康づくりのためのスポーツ活動に対する支援を行います。

#### ② 地域で暮らし続けるための支援の充実

- 地域ケア会議などを通して、地域課題の把握に努めるとともに、課題解決に向けて、住民が主体となった新たなサービスの充実に努めます。
- いきいき百歳体操の活動に加え、料理づくりなど「プラスワン」の取組の充実に努めます。
- 高齢者の移動手段について、旅客自動車運送事業者や関係者と情報交換を行い、地域支援事業によるサービス提供について検討します。
- 成年後見制度の普及啓発に努め、適切な支援につなげる体制づくりや後見人に対する支援に取り組みます。
- 認知症高齢者の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活できるように、関係機関との連携を強化し、必要な支援に努めます。
- 地域共生社会の実現に向けて、自助・互助・共助・公助による全世代型地域包括ケアシステムの推進体制を構築します。

#### ③ 介護サービスの充実と持続可能な制度運営

- 介護給付適正化事業を推進し、適正な介護認定に努め、必要なサービスの提供と費用の効率化に取り組みます。
- 介護サービスの質の向上を図るために、介護サービス事業所に対する指導や監査を実施します。
- 介護サービスを安定的に提供するために、介護保険事業計画に基づき必要な介護サービス事業所の整備を行います。
- 介護サービス事業所と連携を図り、介護人材不足の実態を把握し、介護人材の確保・育成に努めます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【健康長寿部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	1 未へなげ人づくり	2 安心して産育てるみな子育てプロジェクト	5 女性の活躍推進	-	4 中学生・高校生を含む保健医療職者を指す女性に対し、地域医療講演会などを通して情報発信を行います。	健康増進課	-	-	地域医療講演会や地域医療を支える人材育成講演会などを通じ、地域の中高校生に医療にかかわる職業に興味を持ってもらい、将来の医療従事者の育成につなげます。	講演会参加者	100	人	80	B	在宅医療をテーマに2年ぶりに地域医療講演会を開催しました。参加者数は会場25人、Web視聴55件(実人員不明)で、主に医療職や福祉職の参加が多くなっています。地域医療を支える人材育成講演会は中止となりました。	本講演会は地域の医療を守るための啓発のほか、地域医療を支える人材育成の観点から中高校生もターゲットとして開催しましたが、若い世代の参加者はありませんでした。	年に一度の講演会にとどまらず、中高生に地域医療に興味を持ってもらえる仕掛けづくりに取り組めます。
2	2 活を生み出すにぎわいづくり	1 活を生み出す「とづくり」プロジェクト	3 産業人材の確保と誰もが働けるしと環境の充実	-	2 障害者就労支援事業の推進や高齢者の生きがいにつながる雇用の創出に努めます。	高齢者あんしん課	シルバー人材センター支援に要する経費	138	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会の拡大への支援を行います。	シルバー人材センターの就業実績率(就業実績/会員数)	92	%	92.9	A	収入状況は前年度(令和2年度)並みを維持できましたが、令和2年度はコロナ禍による受注先の減少等の影響により前年度比かなりの収入減となっていましたので、引き続き厳しい運営状況にあります。	コロナ禍により受注先の確保が課題となっています。	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会の拡大への支援を行います。
3	3 笑顔で暮らせる地域社会づくり	1 住みなれた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	1 高齢者の活動の充実	生活支援サポーター養成者の総数 【R1】189人 ↓ 【R6】280人	1 「生活支援サポーター」の養成や「いきいき百歳体操」など住民主体の介護予防活動の拡充に取り組めます。	高齢者あんしん課	生活支援体制整備事業	396	「生活支援コーディネーター」が中心となって、「生活支援サポーター」など企画・運営に携わる人材の確保と育成を行い、地域住民と連携した介護予防活動の拡充を推進します。	生活支援サポーター養成者数の総数	210	人	199	A	「生活支援コーディネーター」が中心となって、10~11月に、「生活支援サポーター」に対し「生活支援サポーター養成講座」(4回シリーズ)を実施し、「いきいき百歳体操」などの住民主体型サービスなどの企画・運営に携わる人材23人の育成を行いました。また、介護予防活動の拡充を推進するため、2箇所の新たな通いの場の創設をしました。	「いきいき百歳体操」などの介護予防教室等を住民主体で継続的に実施・拡充する必要があります。	「生活支援サポーター養成講座」を実施し、「生活支援サポーター」のさらなる確保と活用を図る必要があります。
4	4 笑顔で暮らせる地域社会づくり	1 住みなれた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	1 高齢者の活動の充実	生活支援サポーター養成者の総数 【R1】189人 ↓ 【R6】280人	1 「生活支援サポーター」の養成や「いきいき百歳体操」など住民主体の介護予防活動の拡充に取り組めます。	高齢者あんしん課	一般介護予防事業	396	「生活支援コーディネーター」が中心となって、「生活支援サポーター」など企画・運営に携わる人材の確保と育成を行い、地域住民と連携した介護予防活動の拡充を推進します。	生活支援サポーター養成者数の総数	210	人	199	A	「生活支援コーディネーター」が中心となって、10~11月に、「生活支援サポーター」に対し「生活支援サポーター養成講座」(4回シリーズ)を実施し、「いきいき百歳体操」などの住民主体型サービスなどの企画・運営に携わる人材23人の育成を行いました。また、介護予防活動の拡充を推進するため、2箇所の新たな通いの場の創設をしました。	「いきいき百歳体操」などの介護予防教室等を住民主体で継続的に実施・拡充する必要があります。	「生活支援サポーター養成講座」を実施し、「生活支援サポーター」のさらなる確保と活用を図る必要があります。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【健康長寿部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
5	3 笑顔で暮らせる地域共生社会づくり	1 住みながら地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	1 高齢者の活動機会の充実	-	2 「健康」「友愛」「奉仕」活動に取り組む高齢者クラブへの支援を行います。	高齢者あんしん課	高齢者社会参加・交流促進事業	137	高齢者、あるいは各自治区への周知及び働きかけについて、各自治区の集まりなどへの参加による広報啓発について検討します。	各自治区に対して、高齢者クラブについてのアンケートを実施し、課題の精査を行います。	1	回	1	A	市内各自治区及び高齢者クラブに対して、高齢者クラブについてのアンケートを行い意見を集約しました。	アンケート内容については、市だけではなく、日向市高齢者クラブ連合会との意見調整を行いながら、分析及びその後の施策反映へとつなげる必要があります。	アンケート内容について、日向市高齢者クラブ連合会が実施する理事会等を活用しながら、市と連合会とそれぞれの意見の調整を行いながら、結果の分析及びその後の施策反映へとつなげます。
6				-	3 高齢者の生きがいづくりや地域の活性化に取り組むシルバー人材センターへの支援を行います。	高齢者あんしん課	シルバー人材センター支援に要する経費	138	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会の拡大への支援を行います。	シルバー人材センターの就業実績率(就業実績/会員数)	92	%	92.9	A	収入状況は前年度(令和2年度)並みを維持できましたが、令和2年度はコロナ禍による受注先の減少等の影響により前年度比かなりの収入減となっていましたので、引き続き厳しい運営状況にあります。	コロナ禍により受注先の確保が課題となっています。	シルバー人材センターへの運営補助を行うとともに、啓発を通じた受注機会の拡大への支援を行います。
7				-	4 高齢者の文化、スポーツ活動への参加を促進します。	高齢者あんしん課	高齢者社会参加・交流促進事業	137	公共施設マネジメント推進会議では、今後のあり方について「見直し」が必要な施設として位置付けています。令和3年度も引き続き公マネ会議において協議します。	公共施設マネジメント会議ワーキンググループ会議開催数	2	回	2	A	公共施設マネジメント推進会議福祉施設ワーキンググループ会議及び東郷地区施設ワーキンググループ会議を各2回実施し、施設のあり方、今後の方向性について検討しました。	ひまわり卓球場については施設の状況から現状維持の方針ですが、老朽化が進んでいる富高四半的道場及び屋根付運動広場の在り方については、施設の継続した利用があり、関係者の理解を得るための調整が必要です。	令和4年度に市としての方針を定めた上で、関係者への説明を行います。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【健康長寿部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
8	3 笑顔で暮らせる地域づくり	1 住みなれた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	2 地域包括ケアシステムの深化・推進	65歳以上人口に占める要介護(支援)認定者(第1号)の割合(年度末時点) 【R1】 13.4% ↓ 【R6】 13.4%	1 新しい介護予防・日常生活支援総合事業に取り組みます。	高齢者あんしん課	介護予防・生活支援サービス事業	396	日向市社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関係機関と連携し訪問型(移動支援)のサービス創設に取り組みます。	65歳以上人口に占める要介護(支援)認定者(第1号)の割合(年度末時点) 【R1】 13.4% ↓ 【R3】 13.4%	13.4	%	12.71	A	11月に日向市社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関係機関と地域課題検討会を実施し、1月に総合政策課を加え情報交換を行い、サービス創設に向けた検討を行いました。	既存事業や住民ニーズとの調整が必要です。	日向市社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関係機関と連携し訪問型(移動支援)のサービス創設に取り組みます。
2 生活支援サービス体制の充実に取り組みます。					高齢者あんしん課	生活支援体制整備事業	396	「生活支援コーディネーター」が中心となって、医療・介護の専門職や民生委員などが連携する「圏域別地域ケア会議」を開催し地域課題の抽出を行い、「協議体」を活用した課題解決に努めます。	コロナ禍において、医療・介護の専門職や民生委員などが連携する「圏域別地域ケア会議」や「協議体」は開催することができませんでした。						コロナ禍においても「圏域別地域ケア会議」や「協議体」と同様の取り組みができるように、「生活支援コーディネーター」等と実施方法の検討を行います。		
3 中重度の要介護状態になっても在宅生活が継続できる体制づくりに取り組みます。					高齢者あんしん課	介護予防ケアマネジメント事業	396	地域包括支援センターと連携し、高齢者の状態や置かれている環境等に応じて目標を設定し、その達成に向けて支援を行います。	「自立支援型地域ケア会議」を34回(95事例)開催するとともに、年数回研修会を開催し、地域包括支援センター職員の対応力向上を図りました。						今後も高齢者の増加が見込まれていることから、引き続き、地域包括支援センターと連携し、高齢者の支援を行う必要があります。		
11	3 笑顔で暮らせる地域づくり	1 住みなれた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	2 地域包括ケアシステムの深化・推進	-	4 在宅医療と介護の連携を図ります。	高齢者あんしん課	在宅医療・介護連携推進事業	396	関係機関と連携し、「地域資源リスト」の情報を随時更新し、有効的な活用に努めます。	医療・介護の関係機関と連携し、「地域資源リスト」の情報を随時更新し、有効な活用を促します。	1	回	1	A	8月に、日向市・東臼杵郡の町村・医療機関、介護サービス事業所等(368ヶ所)と連携し、「地域資源リスト」の情報の随時更新や有効な活用を促しました。	「資源リスト」の更新が不十分のため活用方法を検討する必要があります。	日向市・東臼杵郡の町村・医療機関、介護サービス事業所等と連携し、「地域資源リスト」の情報の随時更新や有効な活用を促します。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【健康長寿部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書 頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
12	3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	1 住みながら地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	3 認知症施策の実	-	1 認知症初期集中支援チームの活用などにより、認知症の人が適切な医療・介護などを受けられるよう支援します。	高齢者あんしん課	認知症総合支援事業	396	「認知症初期集中支援チーム」に専門医3名、看護師1名、作業療法士1名、精神保健福祉士1名の認知症に対する専門知識と経験を持つ適切な専門職員配置を行い、症状が重症化する前に適切な医療が受けられるように支援を行います。	認知症初期集中支援チームの活用により、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族の訪問、アセスメント、家族支援等の初期の支援を行い、自立生活のサポートを行い、進捗について関係者会議にて情報共有を図ります。	12	回	6	C	地域包括支援センター等の関係機関の介入により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を行い、自立生活のサポートを行い、進捗について毎月ではありませんが、関係者会議にて情報共有を図りました。	対象者が重症化しているケースが見受けられます。	「認知症初期集中支援チーム」を初期段階から利用できる仕組みを検討する必要があります。
13				-	2 認知症サポーターの養成や認知症カフェの開催などの支援や啓発活動に取り組みます。	高齢者あんしん課	認知症総合支援事業	396	「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ」を開催し、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組みます。	認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に積極的に取り組むために、「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ」を開催します。	「認知症サポーター養成講座」を15回(451人)開催するとともに、市内4ヶ所で定期的に「認知症カフェ」を開催し、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組ましました。	550	人	451	B	認知症の早期発見や認知機能を維持する日頃の生活習慣が有効であることから、地域住民に対して知識や理解の普及啓発に努めるとともに、認知症に関する相談・支援体制の充実に取り組む必要があります。	引き続き、「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ」の開催により、認知症の人とその家族などの支援や地域への啓発活動に取り組みます。
14				-	3 成年後見制度の利用促進、相談支援体制の強化に努めます。	高齢者あんしん課	在宅高齢者支援事業	138	法人後見の体制整備について引き続き財政的支援を行うとともに、市民後見人の育成等必要な支援、連携を図っていきます。	法人後見の体制整備について引き続き財政的支援を行うとともに、必要な連携を図ります。	法人後見の体制整備について要綱を整備し、法人後見を実施する日向市社会福祉協議会に対して財政的支援を行いました。	1	法人	1	A	後見等(後見・保佐・補助)を受ける人数は全国的に、そして本市でも増加の一途であり、受任できる専門職の不足が課題である。そのなかで、法人として後見を受任できる体制の存在意義はきわめて高く、引き続きの事業実施が求められます。	市の要綱の期限が令和5年3月31日となっており、その必要性について、日向市社会福祉協議会との間で協議を行い、要綱を整備します。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【健康長寿部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書 頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
15	3 笑顔で暮らせる地域社会づくり	1 住みながら地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	4 地域医療・救急体制の充実	-	1 かかりつけ医の利用促進や時間外受診の抑制など市民への啓発活動に取り組みます。	健康増進課	地域医療体制整備事業	142	救急医療体制を守ることに、「日向市の地域医療を考える会」の活動を支援するなど、市民の自主・自立的な活動の育成・強化に努めます。 また、市広報や地域医療講演会を通じた啓発に取り組みます。	講演会参加者	100	人	80	B	○「日向市の地域医療を考える会」とともに市民に対する啓発活動に取り組みました。 ・啓発用パンフレットの作成、世帯配布 ・地域医療講演会の開催 ○日向市東臼杵郡医師会と看護師の確保や救急医療などに関し意見交換を行いました。 ○「広報ひゅうが」で初期救急や休日・夜間の相談先の周知を行いました。	医師少数区域に属する本市において、医師の高齢化・診療科の偏在などの課題があります。 コロナ禍の中にあつて、医療従事者等の負担を軽減するため、市民一人ひとりに地域医療を守る取組が求められています。	引き続き、適正受診について市民の意識変革、受診行動の改善を促進し、医療従事者の負担軽減を図ります。
16				二次救急医療体制:休日や夜間 【R1】 365日 ↓ 【R6】 365日	2 二次救急医療機関への支援や県北地域でのドクターカー運用に向けた支援策を検討します。	健康増進課	-	-	二次救急医療機関に対する補助及び県立延岡病院のドクターカー運行経費の一部負担について、コロナ感染症の動向及び県と市町村との役割分担を踏まえた検討を行います。	二次救急医療体制の維持	365	日	365	A	二次救急医療機関に対する財政支援により初期及び二次救急医療体制に係る医療環境を維持するとともに、医師・看護師等の医療人材の安定確保が図られました。 救急勤務医支援事業補助金について、依然として医師確保が困難な状況が続いており、「医師の働き方改革」を考慮し、補助制度を継続することとしました。 なお、ドクターカーに運行経費の支援に係る協議は県からの要請が無く行われませんでした。	令和6(2024)年から医師の働き方改革が適用されることで、これまで以上の医師不足と必要な人件費が増加することが見込まれます。 二次救急医療を民間医療機関に依存する日向入郷医療圏にあつて、救急医療体制を堅持するための財源確保が課題となっています。	二次救急医療提供体制の維持について、圏域市町村の姿勢・取組を示すことが求められていることから、財政支援の在り方や対応についての検討を進めます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【健康長寿部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性	
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況				
17		1 住みなれた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	4 地域医療・救急医療体制の充実	東郷診療所(仮称)の整備 【R6】 供用開始	4 東郷診療所の在宅医療などの充実や老朽化した施設の整備に取り組みます。	東郷診療所	東郷診療所特別会計	395	訪問看護の24時間体制を開始し、在宅医療の充実を図るほか、施設整備に向け基本計画の策定及び基本設計にも着手します。	東郷診療所の整備に向けての進捗状況	基本設計の策定	策定済	A	訪問看護の24時間体制を開始し、在宅医療の充実を図ったほか、施設整備については、基本計画及び基本設計の策定を終え、実施設計にも着手しました。	在宅医療の取り組みである訪問診療や訪問看護に対する住民の認知度が低い状況にあります。 施設整備については、進捗状況は計画通り進んでいるものの、施設面積が整備基本計画策定時より増加したことや建築資材の高騰等により、事業費が整備基本計画時に比べ増加する見込みとなっています。	在宅医療の周知を図り、必要とする住民の利用につながるよう努めます。 施設整備については、可能な限り事業費の圧縮や財源の確保に努めます。		
18	3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト	1 健康づくりの推進	大腸がん検診受診率(年度末時点) 【R1】 7.8% ↓ 【R6】 12.0%	1 がん検診や特定健康診査など検診を受けやすい体制づくりや受診率の向上に向けた情報発信、受診勧奨に取り組みます。	健康増進事業	健康増進事業	139	受診しやすい体制づくりに加え、事業所などへの啓発の強化を図ります。	大腸がん検診受診率	10%	8.1	B	・休日や夕方に検診を実施するなど、検診を受けやすい体制づくりに努めました。 ・市ホームページや電話、訪問、文書通知等により、受診勧奨や検診に関する情報発信を行いました。	受診しやすい環境づくりや様々な方法を用いた受診勧奨に取り組んでいますが、受診率は国の目標値に届いていません。	検診の受診率が低い若い世代や、検診未受診者などを対象とした受診勧奨の方法について検討します。		
19					特定健診・保健指導事業	393												
20					がん検診推進事業	140	検診受診の意識付けと検診を受けやすい体制づくりのため、無料クーポン券を送付するとともに利用について周知に努めます。	大腸がん検診クーポン券利用率	25%	15.9	C	・子宮がん、乳がん、大腸がん検診の対象者へ無料クーポン券を送付しました。 ・クーポン券対象者について、電話や検診案内を送付するなど受診勧奨を行いました。	無料クーポン券の利用率は低い状況です。若い世代に対する効果的な周知方法について、検討が必要です。	無料クーポン券の更なる利用促進を図ります。				



様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【健康長寿部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
21	3 笑顔で暮らせる地域共生の会づくり	2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト	1 健康づくりの推進	特定健康診査受診率(年度末時点) 【R1】32.0% ↓ 【R6】40.0%	3 特定健康診査の受診結果に応じて生活習慣病の発症予防や重症化の予防など適切な保健指導を行います。	健康増進課	特定健診・保健指導事業	393	重症化予防連絡票を活用した受診勧奨や健診受診者の結果に応じた保健指導の充実を図ります。	特定保健指導実施率	72.5	%	9月確定	#VALUE!	対象者の状況に応じて、訪問のみではなく、手紙や電話、骨密度測定会での個別相談など様々な方法や機会を活用し、保健指導を行いました。	就業者について、保健指導の日程調整や確保が難しい状況です。	対面での保健指導が困難な人については、健診結果に応じた資料送付や健診当日の保健指導の実施を検討します。
22				-	4 食生活改善に向けた講習会の開催や訪問による適切な指導を行います。	健康増進課	食生活改善推進事業	139	感染症対策を行いながら、食生活の見直しや改善につながるよう対象者に沿った講習会等を開催します。	食生活改善推進員講習会の実施回数	20	回	7	C	コロナ禍で講習会の開催が難しく、目標を大きく下回りましたが、高齢者や親子に向けて栄養についてのリーフレット配布による啓発を行いました。	コロナ禍の感染に対する不安から、講習会等への参加を控える人がみられます。	・感染対策を徹底し、参加人数を分散して講習会を開催します。 ・調理実習に頼らない講習会の実施など内容の検討を行います。
23			2 自殺予防対策の充実	-	1 悩みや不安を抱える市民が相談できる窓口の周知に努めます。	健康増進課	自殺対策事業	141	様々な媒体を用いて、相談窓口の周知に努めるとともに、区未加入者や若い世代などへの周知を図るため、健診などの機会を利用し啓発を行います。	「こころの電話帳」配布数	20,000	部	20,000	A	・若年者、女性の自殺率が増加していることから、「こころの電話帳」にSNSの相談窓口を掲載しました。 ・「こころの電話帳」を全世帯及び市内薬局、スーパー、金融機関等に配布するとともに、乳幼児健診や商工会議所を通じての配布を行いました。	区未加入世帯や若い世代への更なる周知を図る必要があります。	関係部署や関係機関と連携し、相談窓口の周知啓発に努めます。
24				-	2 自殺予防対策を支える人材を育成するため、ゲートキーパー研修を開催します。	健康増進課	自殺対策事業	141	市職員、関係機関・団体を対象にゲートキーパー研修を実施しゲートキーパーの知識を持った人材を増やしていきます。	ゲートキーパー研修の開催	3	回	2	C	民生委員を対象にゲートキーパー研修会を実施し、81名の参加がありました。新型コロナウイルスの感染拡大により市職員を対象とした研修会は開催できませんでした。	コロナ禍のため、人数を集めての研修が難しい状況です。	・民生委員など住民に身近な支援者や関係者を対象に研修を行います。 ・感染対策を講じた上で、職員や関係機関の人が参加しやすい研修を行います。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【健康長寿部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
25			2 自殺予防対策の充実	-	3 自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発活動に取り組みます。	健康増進課	自殺対策事業	141	自殺予防週間、自殺対策強化月間にあわせて啓発を行います。	自殺予防週間、自殺対策強化月間における周知啓発	4	回	4	A	9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間にあわせて、パネル展示やFMひゅうが、市ホームページ等を活用しての啓発を行いました。	自殺対策について、より多くの人や幅広い年代に向けた啓発が必要です。	これまでの取組を進めるとともに、幅広い年代の多くの人に向けた効果的な啓発方法等について検討します。
26	笑顔で暮らせる地域共創の社会づくり	2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト 3 感染症対策の推進	3 感染症対策の推進	-	1 予防接種の実施により感染症の予防に努めます。	健康増進課	新型コロナウイルスワクチン接種推進事業	371	コロナワクチン接種について、市民の皆さんの健康と暮らしを守るため、医療機関等と連携して、市内医療機関での個別接種、市内1会場での集団接種を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めます。	コロナワクチン接種対象者(12歳以上)における2回接種率	70	%	83.8	A	コロナワクチン接種について、市内医療機関での個別接種に加え、市が設置する集団接種会場における接種を推進したことにより、当初の見込みを上回る接種率となりました。市民の新型コロナウイルス感染症の予防、重症化リスクの軽減に努めることができました。	コロナワクチン接種を行うにあたり、医療機関の通常業務に上乗せして協力をお願いすることとなり、医療機関の負担が大きくなっています。	個別接種における医療機関の負担を軽減するため、引き続き、市が設置する集団接種会場における接種を土日等で実施し、個別接種の補完及び市民の利便性の向上に努めます。
27				-	2 感染症に関する正しい知識の普及に取り組み、拡大防止に努めます。	健康増進課	-	-	新型コロナウイルス感染症等の感染発生状況に応じ、感染防止対策について市民への周知啓発を行います。	感染症に関する周知啓発回数	12	回	23	A	感染状況に応じて、随時日向市のホームページに感染防止対策についての記事を掲載し、市民への周知、啓発に努めるとともに、広報ひゅうが、FMひゅうが等での情報発信を行いました。	感染状況に応じた対応の周知に際し、最新の情報を掲載する媒体がホームページやフェイスブックに限られることが課題となっています。	様々な情報発信の方法や媒体の活用を検討し、市民への感染防止対策の周知啓発に努めます。

様式1-3 その他に取組む重点事業

【健康長寿部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	現状と課題	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果	今後の方向性
1	2 健康福祉	2 健康に暮らせるまちづくり	② 医療体制の確保	健康増進課	救急医療体制整備事業	141	今般の医療制度改革により本市の医療提供体制も大きな影響を受けることが予想されます。 安定した救急医療体制を維持していくことが求められます。	初期救急及び二次救急医療体制の医療環境を維持するため、引き続き、日曜・祝日在宅当番医制を維持するほか、二次救急医療施設に対する補助を行います。 また、市内公共施設等に設置しているAED(自動体外式除細動器)について、リース機器を更新します。	計画どおり	・市の公共施設に設置する64台のAED(自動体外式除細動器)を更新しました。 また、「広告付きAED無償設置事業」を活用し市本庁舎等に7台のAEDを設置しました。 ・日曜・祝日在宅当番医事業等の実施により、日曜や祝日における軽症患者の受入体制を維持しました。 ・AEDの更新に合わせて、市職員を対象に救急法講習会を開催しました。 全4回実施・参加者数54人	維持
2	2 健康福祉	2 健康に暮らせるまちづくり	② 医療体制の確保	健康増進課	地域医療体制整備事業	142	地域医療を取り巻く環境は、医師の高齢化や医師・診療科の偏在などにより厳しさを増しています。 医療人材の負担軽減を図るなどの地域医療を守る取組が必要です。	「日向市東臼杵郡医師会」と連携しながら医師、医学生等との関係構築を図り、医療人材の確保に向けた取組を実施します。 また、かかりつけ医の利用促進、時間外受診の抑制等法、地域医療に関する市民意識の醸成に努めます。	計画どおり	市民意識醸成に関わる取組は予定どおり実施することができましたが、「日向の医療について語ろう会」はコロナ禍により昨年に引き続き開催することができませんでした。	維持
3	2 健康福祉	3 高齢者福祉の充実	③ 介護サービスの充実と持続可能な制度運営	高齢者あんしん課	【介護特会】任意事業	396	居宅介護支援事業所の介護支援専門員が作成したケアプランが、ケアマネジメントのプロセスを踏まえ、自立支援等に資するよう、平準化を図る必要があります。 そのため、質の高いケアプランを作成するための全体研修や、ケアプラン作成に必要なアセスメントや課題整理のための技術の向上が課題となっています。	介護保険における要介護認定・要支援認定を受けた被保険者及び「介護予防・日常生活支援総合事業」における事業対象者に対して作成されるケアプラン(居宅介護支援事業所のケアマネジャーが作成したもの)が、ケアマネジメントのプロセスを踏まえ、自立支援等に資する適切なケアプランとなるように、研修会の開催やプラン作成支援を行います。	計画どおり	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、(看護)小規模多機能型居宅介護事業所に勤務する介護支援専門員に対し、「法的根拠に基づくケアプランの書き方」について、WEBにて研修会を開催しました。 講師:あたご研究所 後藤 佳苗氏 開催日:R4.3.16 参加者: 包括支援センター:25名 介護支援専門員 :34名	維持

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【健康長寿部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	全課	「日向市職員広報・広聴マニュアル」の活用や情報発信に関する研修会などを受講し、職員の広報意識の醸成や情報発信力の強化に努めます。	計画どおり	広報ひゅうがやホームページ、FMひゅうが等を用いて、各種健(検)診や健康づくり、感染防止対策などについて幅広く周知啓発を行いました。
2				季節に合わせた疾病や怪我、ワクチン接種などの健康増進につながる情報を発信します。 また、新診療所整備についての進捗状況についての情報も随時発信します。	計画どおり	疾病解説等を掲載した「かんむり山便り」については毎月、施設整備の進捗状況等を掲載した「施設整備かわら版」については8回発行しました。
3			健康増進課	こころの相談に関する相談窓口の周知や各種健(検)診を含めた健康についての情報発信に取り組みます。	計画どおり	広報ひゅうがやホームページ、FMひゅうがを用いて、各種健(検)診や健康づくり、感染防止対策などの周知啓発を行いました。
4			高齢者あんしん課	「第8期日向市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(令和3~5年)」について、有識者委員、専門職委員、市民代表委員で組織する策定委員会を開催します。	その他	進捗状況の検証をするための準備ができていないため開催しておりません。
5		職員の育成	全課	地域防災計画や業務継続計画(BCP)に基づき、情報伝達訓練や防災訓練等に取り組みます。	その他	災害時も含め、不測の事態に備えるため市職員を対象に救急法講習会を開催しました。
6		市民に開かれた市役所づくり	全課	関係課で構成する窓口サービス向上委員会に参加し、窓口利用者の利便性の向上に取り組みます。	計画どおり	窓口サービス向上委員会への参加を行い、窓口利用者の利便性の向上に向けた改善策等を協議しました。
7		情報公開と個人情報の保護	全課	情報公開制度に基づき、適正な運用に努めます。	計画どおり	情報公開制度と個人情報保護制度の適正な運用に努めました。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【健康長寿部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
8		計画的な行政経営の推進	全課	PDCAサイクルの充実強化を図りながら事務事業の必要性や効果、コストを総合的に判断し統廃合を含めた事務事業の見直しに取り組みます。	計画どおり	翌年度予算の新規拡充要求時や予算要求時には、ゼロベースからの見直しを加え、「スクラップアンドビルド」の考え方にに基づき検討を行いました。
9	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	高齢者あんしん課	行政サービスの質の向上や効果的・効率的な業務遂行を目的として民間委託、指定管理者制度等の活用などに取り組みます。	計画どおり	老人福祉センター、養護老人ホーム等の公の施設管理について指定管理者制度を活用し、民間活力を活用し、効果的な業務遂行に努めました。
10			全課	時間外勤務の縮減や振休・年休の取得推進に努めます。	計画どおり	早朝からの勤務が必要となる健(検)診業務について、時差勤務制度を活用することにより、時間外勤務の抑制に努めました。
11	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	東郷診療所	地域のかかりつけ医療機関として、住民との関係性を高め、診療収入の改善を図ります。	遅れ	訪問看護や訪問診療には取り組みましたが、出前授業はコロナ禍により開催出来ませんでした。また、新型コロナワクチン接種を除いた外来患者数は増加しなかったものの、検査体制の充実により1人当たりの診療費は増加しました。
12			全課	「日向市補助金交付ガイドライン」により各補助金を効果的・効率的にかつ適正に運用します。	計画どおり	補助事業の要綱を作成、見直すなど補助事業の適正な評価を行い、適切に次年度予算要求につなげました。
13			健康増進課	○救急勤務医支援事業補助金 [内容] 圏域の二次救急医療機関(3病院)において、休日・夜間に救急対応を行う医師に支払われる手当に係る補助 [経緯] R元年 医師確保が厳しい状況の下、支援の縮小は困難として終期を2年間延長	計画どおり	圏域の二次救急医療機関においては依然として医師確保が困難な状況が続いており、令和6年から適用される「医師の働き方改革」を考慮し、補助制度を継続することとしました。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【健康長寿部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
14	未来につながる 財政運営	自主財源の 確保	高齢者あ んしん課	会計年度任用職員(介護保険料徴収業務)を活用した電話・文書による催告を実施するとともに、高額滞納者への滞納処分を強化します。また、介護保険料滞納による給付制限の周知を行い、納付意識を高めていきます。	計画どおり	会計年度任用職員を活用し、電話・文書による催告を実施し、納付指導を行いました。また、財産調査を行い、滞納処分を実施しました。給付制限等の制度啓発を行い、効果的な収納対策に取り組みました。  令和3年度普通徴収収納率 [上半期](9月末) 現年度分46.20%、滞納繰越分20.99% [下半期](年度末) 現年度分90.72%(3月末)、滞納繰越分33.80%(3月末)
15			高齢者あ んしん課	公共施設の使用料・手数料の見直しについて財政課等庁内関係各課の検討状況も参考にしながら検討を進めます。	未着手	現在、所管の公共施設については公共施設マネジメント推進会議にてあり方含め検討を進めており、その検討を優先して行いました。
16	未来につながる 財政運営	自主財源の 確保	健康増進課	市の公共施設等に設置しているAED(自動体外式除細動器)の一部について、「広告付きAED設置事業」を活用し、今年度予定している機器の更新費用を削減します。	完了	本庁舎や市立図書館など6施設に7台の広告媒体付きAEDを無償設置することにより、更新費用のほか、設置期間8年間の維持管理費を削減しました。